

【記入例；研究費助成（研究会設立助成）】

助成事業申請書

一般財団法人災害科学研究所
理事長 松井 保 殿

平成 年 月 日
申請者
[法人名/団体名]
[代表者 職・氏名] ○○ ○○ 印

災害科学研究所 研究助成事業運用規程 に基づき下記のとおり申請致します。

事業区分	研究費助成事業 ※運用規程第3条の種別
名称（題目）	「○○研究会」設立に係る助成
申請者	申請者区分 ※該当区分にチェック。 <input checked="" type="checkbox"/> 研究員 <input type="checkbox"/> 研究会委員等 <input type="checkbox"/> 一般申請者（左記以外） 申請担当者（連絡先） [氏名] ○○ ○○ [住所] [法人名][所属] [TEL/FAX] [Email]
事業期間等 ※事業終了後、1か月以内に実施報告書提出	平成 26 年 11 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日（3ヶ年） 成果公表時期：平成 29 年 5 月予定
事業目的・内容 ※事業詳細資料添付 (パンフレット、プログラム等)	○○などにおいては、耐震化率が低く、地震対策が急がれているため、○○等を調査研究する「○○研究会」設立を企画し、平成○年○月○日付にて研究会設置の承認を頂いたところです。つきましては、ここに研究費助成を申請します。 添付資料：特定研究申請書（平成○年○月○日付）
助成申請金額 ※申請金額根拠添付 (見積書、渡航計画書等)	¥○○, ○○○-
備考 ※連携研究実績が必要な場合は事務局が記入(既往助成実績、補助限度額ほか)	[事務局記入] 研究助成事業運用規程第3条 別表第1(研究会設立の場合、最大10万円)による。

【記入例；出版助成】

助成事業申請書

一般財団法人災害科学研究所
理事長 松井 保 殿

平成 年 月 日
申請者
[法人名/団体名]
[代表者 職・氏名] ○○ ○○ 印

災害科学研究所 研究助成事業運用規程 に基づき下記のとおり申請致します。

事業区分	出版助成事業 ※運用規程第3条の種別
名称(題目)	「○○技術マニュアル」の出版
申請者	申請者区分 ※該当区分にチェック。 <input checked="" type="checkbox"/> 研究員 <input type="checkbox"/> 研究会委員等 <input type="checkbox"/> 一般申請者(左記以外) 申請担当者(連絡先) [氏名] ○○ ○○ [住所] [法人名][所属] [TEL/FAX] [Email]
事業期間等 ※事業終了後、1か月以内に実施報告書提出	平成 26 年 11 月中旬 (出版予定) 出版図書提出時期：平成 26 年 12 月上旬予定 (提出 1 部)
事業目的・内容 ※事業詳細資料添付 (パンフレット、プログラム等)	○○研究会では、○○年度から○○に関する研究を継続しており、今年度研究活動として、○○に係る技術的知見をとりまとめ、「○○技術マニュアル」を出版しますので、ここに出版助成を申請します。 添付資料：「○○技術マニュアル」目次 <または構成案>
助成申請金額 ※申請金額根拠添付 (見積書、渡航計画書等)	¥○○, ○○○ー (添付資料：印刷製本見積書)
備考 ※連携研究実績が必要な場合は事務局が記入(既往助成実績、補助限度額ほか)	[事務局記入] 研究助成事業運用規程第3条 別表第1(研究員の場合、最大20万円)による。

【記入例；外国人研究者講演支援】

助成事業申請書

一般財団法人災害科学研究所
理事長 松井 保 殿

平成 年 月 日
申請者
[法人名/団体名]
[代表者 職・氏名] ○○ ○○ 印

災害科学研究所 研究助成事業運用規程 に基づき下記のとおり申請致します。

事業区分	外国人研究者講演支援事業 ※運用規程第3条の種別
名称(題目)	外国人研究者の講演に関する補助
申請者	申請者区分 ※該当区分にチェック。 <input checked="" type="checkbox"/> 研究員 <input type="checkbox"/> 研究会委員等 <input type="checkbox"/> 一般申請者(左記以外) 申請担当者(連絡先) [氏名] ○○ ○○ [住所] [法人名][所属] [TEL/FAX] [Email]
事業期間等 ※事業終了後、1か月以内に実施報告書提出	平成 26年 11月 15日 実施報告書提出時期：平成 26年 12月 10日 予定
事業目的・内容 ※事業詳細資料添付 (パンフレット、プログラム等)	下記の外国人研究者が○○の招聘研究者として来日する機会に合わせ、 関西地区の研究者等に講演頂くことは、当研究所の研究活動として意義 あることと考え、講演への補助を申請します。 講演者：○○国、○○大学○○学部教授 Dr.*** 日時・場所：○○大学○○学部○○教室 講演内容：講演プログラム添付
助成申請金額 ※申請金額根拠添付 (見積書、渡航計画書等)	¥○○, ○○○- (講演謝金)
備考 ※連携研究実績が必要な場合は事務局が 記入(既往助成実績、 補助限度額ほか)	[事務局記入] 研究助成事業運用規程第3条 別表第1(研究員の場合、最大5万円)による。

【記入例；海外研修助成】

助成事業申請書

一般財団法人災害科学研究所
理事長 松井 保 殿

平成 年 月 日
申請者
[法人名/団体名]
[代表者 職・氏名] ○○ ○○ 印

災害科学研究所 研究助成事業運用規程 に基づき下記のとおり申請致します。

事業区分	海外研修助成事業 ※運用規程第3条の種別
名称（題目）	○○に関する○○国際会議への出席（イタリア・ローマ）
申請者	申請者区分 ※該当区分にチェック。 <input checked="" type="checkbox"/> 研究員 <input type="checkbox"/> 研究会委員等 <input type="checkbox"/> 一般申請者（左記以外） 申請担当者（連絡先） [氏名] ○○ ○○ [住所] [法人名][所属] [TEL/FAX] [Email]
事業期間等 ※事業終了後、1か月以内に実施報告書提出	平成 26年 11月 10日～平成 26年 11月 15日（延べ6日間） 実施報告書提出時期：平成 26年 12月 10日予定
事業目的・内容 ※事業詳細資料添付（パンフレット、プログラム等）	○○国際会議において開催される○○ワークショップにて、○○に関する研究成果を発表するとともに、世界各国の研究者と○○に関する技術交流ならびに情報交換を行います。また、これらの成果は○○等を通じて研究活動に反映させる予定です。つきましては、ここに海外研修助成を申請します。 添付資料：○○国際会議パンフレット
助成申請金額 ※申請金額根拠添付（見積書、渡航計画書等）	¥○○, ○○○－ （添付資料：渡航計画書、旅費見積書）
備考 ※連携研究実績が必要な場合は事務局が記入（既往助成実績、補助限度額ほか）	[事務局記入] 平成 25年度連携研究実績（管理分担金） ***円 24 " ***円 23 " ***円 合計 ***円 ① ①×1/3＝ ***円（≥申請金額） なお、研究助成事業運用規程第3条 別表第1より、研究員の場合、最大50万円。